

# 令和5年度第1回千葉市水道事業運営協議会議事録

水道局水道総務課

## 1 日時

令和6年3月21日（木）午前10時00分～午前11時40分

## 2 場所

千葉市役所 本庁舎 3階 XL会議室301

## 3 出席者

（委員）杉谷委員、大道委員、石川(弘)委員、岡崎委員、山崎委員、青山委員、椛澤委員、松坂委員、石井委員、野本委員、渡辺委員、秋山委員、石川(光雄)委員、山岸委員、小幡委員、白井委員

（事務局）橋本水道局長、神田水道局次長、大木水道総務課長、武田水道事業事務所長、赤石水道総務課長補佐、宮本水道事業事務所長補佐、千國水道事業事務所主査、高瀬水道事業事務所主査、笠井水道総務課主査、工藤主任主事、野田主任主事、林主事

## 4 傍聴人

0人

## 5 議題

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 千葉市営水道の概要及び令和6年度予算（案）について
- (3) 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について
- (4) 事業統合・広域化に向けた千葉県との協議状況について

## 6 配付資料

- (1) 資料1 千葉市営水道の概要及び令和6年度予算（案）について
- (2) 資料2 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について
- (3) 資料3 事業統合・広域化に向けた千葉県との協議状況について
- (4) 資料4 千葉市中長期経営計画概要

## 7 議事の概要

(1) 会長の選出等

委員の互選により、石川弘委員が会長に、大道委員が副会長に選出された。

(2) 千葉市営水道の概要及び令和6年度予算（案）

千葉市営水道の概要及び令和6年度予算（案）について、説明を行った。

(3) 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況

千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について、説明を行った。

(4) 事業統合・広域化に向けた千葉県との協議状況

事業統合・広域化に向けた千葉県との協議状況について、報告を行った。

**【議題「千葉市営水道の概要及び令和6年度予算（案）について」の質疑応答】**

<松坂委員>

千葉市域の県営水道の耐震化率はどうなっているのか。

<武田水道事業事務所長>

管路全体について令和4年度の数字で千葉県営水道の方が27%程度、千葉市営水道の方が44%程度となっている。

<橋本水道局長>

水道事業事務所長からの説明は管路全体の耐震化率で、ほかに基幹管路の耐震化の指標として、耐震適合率というのがあるが、この耐震適合率では千葉県営水道が61.5%、千葉市営水道が65.5%となっている。国が目標とする令和10年度までに60%以上に引き上げる目標を既に上回っていることから、耐震化率は比較的進んでいるものと考えている。

<松坂委員>

この耐震化率は県全体それとも千葉市域におけるものどちらなのか。

<橋本水道局長>

県営水道の区域が千葉市を含めて11市あるが、この全体の耐震化率である。

<松坂委員>

千葉市域の耐震化率の数字はもっていないということか。

<武田水道事業事務所長>

県営水道の千葉市域だけの耐震化率は把握していない。

<松坂委員>

県営水道の千葉市域の耐震化率と他の地域の耐震化率を比較したかった。県営水道が9割の優良な地域、収入が多い地域を行っていて、残りの厳しい地域を千葉市が行っている。今後の経営状況にもかかわってくるので、県営水道の千葉市域の耐震化率を把握しておくことは必要なことではないか。今後調べておいてほしい。

<野本委員>

老朽化した配水管の更新や耐震化は何年ぐらいかかると考えているのか。

<武田水道事業事務所長>

中長期経営計画というのを令和3年度から令和12年度の計画期間で行っている。更新をしながら耐震化を進めている中で令和12年度末までに耐震化率52パーセントを目指して整備を進めているところである。

<野本委員>

何年かかるのかということと、どのくらいの予算が必要になるのかということをおききたい。

<武田水道事業事務所長>

老朽化には管路だけではなく設備的なものもあるので6億円程度を見込んで事業を進めている。

<野本委員>

6億円というのは単年度でそのぐらいかかるという認識でよいのか。営業外収益で9億5,500万円を一般会計から入れてもらっていて、耐震化を行うために6億円ということになるとさらに6億円を一般会計から繰り入れてもらわなければならないのか。

<大木水道総務課長>

先ほどの6億円の中には一般会計からの繰入金も含まれているので耐震化を進めることでさらに増えるということは考えていない。

<野本委員>

県営水道から高い価格で水を買って、市民に安く売らなければならないためこの差額が赤字として出ている。給水原価が1トン381円かかっている市民の皆さんには203円で供給しているため、今後一般会計から繰り入れてもらっている赤字がどれくらい増えていくのかということ懸念している。

< 梶澤委員 >

分水価格について、県市間の協議は行っていると思うが、近年この単価は変わっているのか。

< 大木水道総務課長 >

県営水道からの分水単価について近年変化はなく、平成11年に改正されたものが現在も使われている。

< 梶澤委員 >

統合に関して時間がかかるなら、単価自体について協議を力強く行っていく必要があるのではないか。

< 武田水道事業事務所長 >

毎年、県営水道とは協議を行っているが、引き下げを要望しても応じてもらえていない。そのため、使用水量を下げるよう努めている。今後引き続き、県営水道には市側の考えを伝えていきたい。

< 梶澤委員 >

避難所まで管路をつなげていく計画はあとどれくらい見通してとしてかかるのか。

< 武田水道事業事務所長 >

中長期経営計画の中で、避難所につながる管路を優先的に行っていくよう今後検討していく。

< 松坂委員 >

能登半島の地震でも、上下水道はかなり厳しい状況になっている。避難所も含めて市民目線に立って早急に対応されたい。

【議題「千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について」の質疑応答】

< 渡辺委員 >

北谷津清掃工場に給水を行うということだが、途中にある県の施設にはつながっていないようだがどうなっているのか。

< 武田水道事業事務所長 >

千葉県立泉高校について説明を行っているが、高校の中でも費用対効果があるため、現在給水について予算計上はされていない状況である。

< 渡辺委員 >

県から高い価格で水を買ひ、市営水道が水道を引いたら自分たちは使わないというのはいかかなものか。ここは避難所にもなっている。市営水道を引かないと電気が止まった際に水が使えなくなってしまう。

< 武田水道事業事務所長 >

泉高校の設備がどうなっているかはわかりかねるが、防災部局の方で何かしら対応を考えているのではないか。

< 渡辺委員 >

泉高校には、早く要請し、実施していただきたい。

< 武田水道事業事務所長 >

引き続き、千葉県の方には説明を行っていく。

< 野本委員 >

北谷津清掃工場への給水と下田への給水ということだが、これは何キロぐらい行って、どのくらい水を買ってもらい収益はどのくらいになるのか。

< 武田水道事業事務所長 >

北谷津清掃工場までは1.5kmの配水管を整備し、北谷津清掃工場から下田へつなぐ管路として3.5kmの整備を行う。北谷津清掃工場については、1日300m<sup>3</sup>と見込んでいて、月400万円程度の収入になる見込みである。下田の方については月100万円程度の収入を見込んでいる。

< 野本委員 >

5kmということだが、ほとんどが県営水道の区域となっている。県水の区域に市営水道の本管が入って、近隣の住民に給水は出来るのか。

< 武田水道事業事務所長 >

金親町という県営水道の区域を經由して下田に水を送る計画を進めているが、市営水道の水道管の布設地域に面している方には給水できるように県営水道と協議を進めている。

< 野本委員 >

先ほど渡辺委員からも話があったが、千葉市でせっかく水道を引いても泉高校が水道を引かなければ、停電になったら使えなくなってしまう。熊谷知事に水道を引くように要望すべきである。

< 石川弘会長 >

防災担当の所管にも、意見を伝えていきたい。

【議題「事業統合・広域化に向けた千葉県との協議状況について」の質疑応答】

<山崎委員>

事業統合について、千葉市以外だと市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市で構成されているちば共創都市圏というものや、千葉うみさとラインプロジェクトと水道の給水の連携というのは考えていないのか。

<大木水道総務課長>

そういった視点での連携は考えていない。水道には水系があり、千葉市の場合千葉県営水道の影響力は大きく、千葉県営水道が供給している市原市、習志野市、市川市、船橋市、浦安市、松戸市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、成田市との結びつきの方が強い。

<山崎委員>

千葉県北西部との結びつきが強いとのことだが、千葉県の南や東と連携していくのはどうか、大都市制度もあるため、千葉県の影響力をなるべく減らしていった方がよいのではないのか。今までのものはパターンAとして、基礎自治体のみで連携していくパターンBみたいなものを検討していくのはどうか。

<橋本水道局長>

千葉県は、千葉県水道広域化プランにおいて、県内を8つのブロックに分けて、広域連携の検討を進めており、本市は県営水道給水区域の11市が属する京葉ブロックで協議を行っているため、九十九里地域水道企業体や南房総広域水道企業団と連携していくことは難しい。

<山崎委員>

視点を変えて、市原市や千葉市といった基礎自治体だけで水道事業を行うことは可能なのか。基礎自治体で連携して千葉県とは別に水道事業体を新たに再編することは出来ないのか。

<神田水道局次長>

基本的に県の水道ビジョンの中で、千葉県の用水事業というのは、本来県の役割で、水を配っていくのが市町村という考え方を打ち出している。その中でこのリーディングケースにおいて九十九里地域水道企業団と南房総広域水道企業団が県営水道と統合して用水供給事業を行っていくと平成22年から県が両企業団等と協議している。末端の市町村が用水事業を行うということは県も千葉市も考えていない。

<松坂委員>

なぜ、県との統合が進んでいかないのか。どちらが拒否しているのか。

<橋本水道局長>

丁寧に調整を図るべき事項が多いこともあるが、千葉県は千葉市との事業統合を中長期的な課題として認識しており、千葉県営水道にとって千葉市との事業統合にメリットが見いだせないのが県との協議が進まない最大のネックとなっている。

<松坂委員>

確かにメリットはないが、負担をかけずに経営を改善して水道を維持していくためには県営水道との統合は必要なことである。事務方が協議を行っていても進展しないのなら政治決断でやるべきである。議会でも支援していくので頑張ってください。

<橋本水道局長>

広域連携に向けた課題をあらためて整理し、昨年12月に県水政課長と直接協議を行い、千葉県企業局及び県水政課との3者会議と早期の進展を申し入れているところである。今後、首長同士の協議が必要になった際には、県市間の連携推進会議の開催について県と協議していきたい。

<渡辺委員>

県下で水道料金について四街道市が一番安いのが四街道の水を引けば赤字がなくなるのではないかと。

<武田水道事業事務所長>

四街道市が供給しているのは地下水である。また水源の問題もあって四街道市から水源をとるということは考えていない。

<岡崎委員>

千葉県との統合を待っている間に、コスト削減ということで土気浄水場廃止の話聞いたが、昭和36年から行ってきた給水体系を変えることにデメリットはないのか。

<武田水道事業事務所長>

土気浄水場の建物などの構造物は60年を超えている。更新するにはコストがかかり、大木戸浄水場から配水できるという見解に至っているため、そちらの方に進めていきたい。

<岡崎委員>

コストの面からみれば廃止の判断は正しいと思うが、私が懸念しているのは、水の系統を変えることによって物理的に何かデメリットはないのかということである。

<武田水道事業事務所長>

系統を変えるということで一番懸念されるのは赤水の問題である。それについては一度に切



り替えるのではなく順々にやっていき赤水を出さずに済むように検討しているところである。

〈神田水道局次長〉

大木戸浄水場から給水することになると少しポンプの力を強くしなければならないが、場所によっては水圧がかかりすぎてしまって減圧しなければならないところがある。2か所ぐらい懸念される場所があるが、対策できるので特に支障はないものと考えている。

〈岡崎委員〉

県営水道との統合については先ほどの松坂委員と同意見である。

〈柗澤委員〉

土気浄水場廃止によるコスト削減額はどのくらいか。またいつ廃止出来るのか。

〈武田水道事業事務所長〉

大木戸浄水場の更新については令和7年度から始め令和11年度をめどに行っていきたい。土気浄水場については中長期経営計画の中で廃止を考えている。

〈神田水道局次長〉

コスト削減額は約11億円を見込んでいる。

〈柗澤委員〉

令和11年度だとまだ時間はあるが、令和4年度の大木戸浄水場の電気系統の停電トラブルもあったため器具の更新も含めて適切に行っていただきたい。統合の件については松坂委員からもあったがトップ事項として位置付けていただき前向きな調整を行っていただきたい。

〈野本委員〉

県議会の話として料金体系のあり方のさらなる検討と資料に載っているが、黒字の千葉県水道局がいうのはおかしな話ではないか。水道料金の値上げを言っているのか。赤字を解消するためにこの協議会でしっかり発信していくことは必要である。

〈神田水道局次長〉

リーディングケースの中で九十九里地域水道企業団と南房総広域水道企業体に配る用水供給の単価が想定よりも高くなりそうなので料金体系を当初のものから変更するという意味である。千葉県営水道との統合に時間はかかっているが現在の枠組みの中で千葉市が持つ未活用水源を活用して広域連携ができないかということ千葉県の水政課と協議している状況である。

〈石井委員〉

県市間の関係について、党派を超えて意見が出ているが、この協議会で出たことをしっかり

市長に伝えていただきたい。